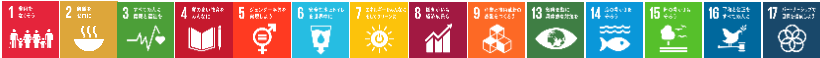


中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

3GPP専門委員会

1/3

<p>企画戦略委員</p>	<p>澤田 政宏(ドコモ)、 渡辺 伸吾(KDDI)</p>	<p>登録委員数</p>	<p>56名 16社</p>
<p>委員長・副委員長/ リーダー・サブリーダー</p>	<p>委員長 横田 大輔 (ソフトバンク)、副委員長 傳賢 浩史 (NEC)</p>	<p>図解</p>	
<p>活動の目的・意義</p>	<p>3GPPが策定した技術仕様書は、右記で図解した7つのOPが国内（地域）標準として制定して正式な標準としての効力を持つ。したがって、本専門委員会が、国内標準のTTC仕様書とするためのダウンストリーム作業を行い、3GPPパートナーの役割を遂行する。これにより、ITU-T参照標準に向けた土台を整えることができる。</p> <p>3GPPの主にアーキテクチャ、コアネットワークに関するワークアイテム・スタディアテムと、技術仕様策定グループ（TSG） 会合の状況を共有等し、メンバー企業の標準化戦略策定、製品開発に資する。</p>		
<p>活動する上での課題 (人材面や運用面での課題を含む)</p>	<p>コロナ禍で3GPP自体の活動スケジュールは、遅延しているが、専門委員会活動はオンラインを活用して計画通り進めている。</p>		
<p>関連のSDGsゴール</p>			
<p>標準化方針</p>	<p>3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術の議論。2023年度は、3GPPで検討中の5G Advanced(Rel-18)を中心とした情報共有と意見交換の見込み。</p> <p>3GPPで承認された仕様を、TTC仕様書として制定（ダウンストリーム活動）、また必要に応じてITU-T/Rへ勧告化を提案。</p> <p>年4回（4, 7, 10, 1月）の専門委員会会合の開催、及び年4回（6, 9, 12, 3月）の3GPP仕様書ダウンストリームを予定。</p> <p>国内では、5G商用サービスが開始されており、5Gの特長である異業種との連携も含めた5Gサービスの普及を促進する。</p>		
<p>国内外の標準化団体等の動向</p>	<p><u>他国内標準化組織との連携による移動通信標準化作業の活性化と促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 移動通信市場の活性化、更に異業界における5Gの活用に対して、必要な仕様の標準化に対応する。 ARIB、CIAJなどの国内通信関連標準化組織との連携やTTC内関連専門委員会との連携を図り標準化活動を進めて行く。 <p><u>海外の関連標準化組織との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ITU-T/R, IEEE, IETF, BBF, GSMA等との連携に配慮する。 		

3GPPは、7標準化団体のパートナーシッププログラムである。3GPPが作成する技術仕様及び技術レポートを、TTCを含むこれら標準化団体（パートナー）はダウンストリームして、その標準等の正式文書とする。またパートナーを通じて各企業は3GPPの作業に参加する。



- 運営・ガバナンス・財務管理等
- 所属する各Individual Memberが技術仕様策定に参画
- ダウンストリーム標準制定



<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論を実施。 3GPPで承認された仕様書を、年4回*TTC仕様書として制定（ダウンストリーム活動）-約1400件の仕様のダウンストリームを実施。*年4回：7月、10月、1月、3月(予定)。 年4回の専門委員会会合を開催し3GPP仕様書ダウンストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論を実施。 5G主要アイテム（NWスライス、Local 5G）の委員会内の勉強会の取り組み（来年度勉強会成果を委員会外へ提示/紹介を予定）
---------------------------------------	--

<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及びB5Gに向けた標準化推進施策を検討する。
------------------------------	--

主な活動項目	概況指標	2022年度目標(当初計画時)	2022年度実施状況	記事
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	・3GPP	3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#68(4月), #69(7月), #70(10月), #71(1月)を開催	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件	0件/0件/0件	
<p>③ ダウンストリーム</p>	数	TS/TR 4回(四半期毎) Rel-17が追加となる予定	ダウンストリーム制定 4月8日制定 (TS 120件、TR 4件) 7月8日制定 (TS 94件、TR 0件) 10月15日制定 (TS 926件、TR 47件、Rel-17を追加) 1月13日制定 (TS 249件、TR 4件)	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	セミナー	・移動通信網マネージメント専門委員会と連携して 5G仕様の主要アイテムを深掘する勉強会の継続～勉強会の成果を外部に展開を検討予定	移動通信網マネージメント専門委員会と連携して5G仕様の主要アイテムとしてNWスライス、Local 5Gを選定し、各アイテムの技術を深掘するための勉強会を開催 NWスライス: 6回 x 2トピック, Local 5G: 9回 x 1トピック	
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討		

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み

- 3GPP-TSGを中心とした移動通信の国際標準化活動に関する情報共有と意見交換及び関連技術議論。
- 3GPPで承認された仕様書を、年4回TTC仕様書として年4回制定（ダウストリーム活動）、またITU-Tの勧告化について移動通信網マネジメント専門委員会の議論をサポート。
- 年4回の専門委員会会合の開催、3GPP仕様書ダウストリーム結果の承認、及び、TSG会合結果を基に主要課題等の議論。
- 5G主要アイテム（NWスライス、Local 5G）の委員会内の勉強会成果を委員会外へ提示/紹介。

関連する専門委員会または外部組織とその内容

- 移動通信網マネジメント専門委員会等と連携して5G標準の普及促進、及びB5Gに向けた標準化推進施策を検討する。

主な活動項目	概況指標	2023年度目標(当初計画時)	2023年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数		-	
	外部会合への参加・連携状況	・3GPP TSG会合(3, 6, 9, 12月)を受けて、3GPP専門委員会#72, #73, #74, #75を開催		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準			
	TS/TR/SR	0件/0件/0件		
③ ダウストリーム	数	TS/TR 4回(四半期毎) ITU-Rの勧告(M.2012, M2150)改訂への対応		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	・移動通信網マネージメント専門委員会と連携して 5G仕様の主要アイテムを深堀する勉強会の成果を外部に展開を検討予定		
	記事投稿、講演会	TTCレポート活動報告、積極的に関連業界誌等への寄稿を検討		